

登録コード	A4B06200	開講年度	2026			
授業科目	蔬菜花卉園芸学				担当教員	阿久津 雅子 他
英文授業名	Vegetable and ornamental horticulture					近藤 文哉
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・1時限	対象学生
講義室	農学部 2 3 番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 0 2 5 Aカリ					
	【2025年度以降カリキュラム対象】2.【専門性】 農学分野の専門的な学識と技術が身についている。				蔬菜および花卉植物の専門的な知識を修得することが出来る	
	【2025年度以降カリキュラム対象】3.【情報分析・発信力】論理的な思考力のもと、多様な情報を収集・分析・活用できるとともに、効果的に伝えることができる。				蔬菜および花卉植物の専門的な知識を修得することが出来る	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	「植物」と一言で言っても、様々な形で分類される。育てる環境によってもその生育に差異が出るように、植物の形態的・生理学的特性をきちんと理解した上で、植物を育てる事が重要となる。 そこで、植物の詳細な形態の特徴と生理的特性から、どのように野生植物が栽培植物として利用されてきたかなどを中心に講義を行う。					
(5)授業計画	第1回：園芸作物の起源と歴史（阿久津） 第2回：栽培作物の分類と園芸作物（阿久津） 第3回：植物生産システムの特徴と種類（阿久津） 第4回：植物の基本的構造（2）（阿久津） 第5回：園芸作物の経済栽培（阿久津） 第6回：農業生産の推移と園芸作物の利用（阿久津） 第7回：園芸施設内の環境制御（1）（阿久津） 第8回：園芸施設内の環境制御（2）（阿久津） 第9回：実際の栽培現場（阿久津） 第10回：中間テストあるいは実際の栽培現場（阿久津） 第11回 果菜の重要特性とその生理（近藤） 第12回 葉根菜の重要特性とその生理（近藤） 第13回 花卉の重要特性とその生理（近藤） 第14回 野菜・花卉の育種（近藤） 第15回 野菜・花卉の育種（近藤） 第16回：定期試験（近藤） 最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします					
(6)自主学習の指針	講義で取り上げた事項に関して理解出来なかったところおよび網羅出来なかった点に関して自主学習で補完する					
(7)成績評価の基準	中間テスト（あるいはレポート）と定期テストで評価					
(8)事前事後学習の内容	（4）自主学習の指針で述べた事と同様					
(9)テストやレポートの予定	中間テスト（あるいはレポート）および定期テストを課す					
(10)成績評価の方法	中間テスト（あるいはレポート）および定期テストを100点満点で評価する。 成績評価基準は、秀（90-100）、優（80-89）、良（70-79）、可（60-69）、不可（0-59）とする なお、第1回から第10回までが中間テストあるいはレポート 第11回から第15回までが定期テストとなる					
(11)質問、相談への対応および連絡先	阿久津雅子：akutsu@shinshu-u.ac.jp 近藤文哉：fkondo@shinshu-u.ac.jp					
(12)履修上の注意	復習および予習を十分に行う					
【教科書】	特に使用しないが、参考書を適宜活用する					
【参考書】	野菜園芸学の基礎（篠原温，農文協） 花卉園芸学の基礎（腰岡政二，農文協） 園芸学の基礎（鈴木正彦，農文協） 最新施設園芸学（古在ら，朝倉書店） 施設園芸・植物工場ハンドブック（日本施設園芸協会，農文協）					